

環水大土発第1703221号
平成29年3月22日

特定非営利活動法人日本芝草研究開発機構理事長 殿

環境省水・大気環境局土壌環境課
農薬環境管理室長



ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止及び水産動植物被害の防止
に係る指導指針の運用に当たっての留意事項について

日頃、農薬環境行政の推進にご理解、ご協力を賜わり、厚く御礼申し上げます。

今般、平成29年3月9日付け環水大土発第1703091号環境省水・大気環境局長通知をもって、「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止及び水産動植物被害の防止に係る指導指針」（以下「指導指針」という。）を定めたところですが、その運用に当たっての留意事項を、別添写しのとおり都道府県環境担当部長あてに示していますのでお知らせします（水質調査結果の報告に関する別紙及び別紙様式は除く。）。

については、会員に対し、ゴルフ場における農薬の使用及び水質の自主検査を行う際の参考とされるよう周知をお願いします。

(別添写し)

環水大土発第1703162号
平成29年3月21日

都道府県環境担当部長 殿

環境省水・大気環境局土壌環境課
農薬環境管理室長
(公印省略)

ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止及び水産動植物被害の防止に係る指導指針の運用に当たっての留意事項について

日頃、農薬環境行政の推進にご理解、ご協力を賜わり、厚く御礼申し上げます。

今般、平成29年3月9日付け環水大土発第1703091号環境省水・大気環境局長通知をもって、「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止及び水産動植物被害の防止に係る指導指針」(以下「指導指針」という。)を定めたところですが、その運用に当たっては、下記の事項に十分ご留意いただき、適切にゴルフ場の指導に当たられるようお願いいたします。

記

1. 指導指針に基づく指導の実施

指導指針は、都道府県がゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁及び水産動植物被害を未然に防止するための指導の実効を期すため、ゴルフ場から排出される水に含まれる農薬の実態を的確に把握し、水質保全及び生態系保全の面からゴルフ場を適切に指導する際の参考として定めたものである。

このため、指導指針の運用に当たっては、ゴルフ場で使用される農薬の場外への流出をできる限り抑えるとともに、排出水中の農薬の濃度を分析・把握し、水濁指針値及び水産指針値を超えないよう関係部局と連絡を密にし、指導に努められたい。

2. 水質調査の実施

水質調査の実施に当たっては、適切な採水、分析の実施が重要であることから、以下の点に留意し、また、ゴルフ場の自主検査に対しても技術的指導に努められたい。

(1) 採水に当たっての留意点

採水は原則として排水口で行い、農薬の使用状況、散布地点から採水地点までの地形等を考慮し、分析対象とする農薬の排水中の濃度が比較的高い状態であると見込まれる採水地点、採水時期で行うよう努められたい。

具体的には、これまでの調査実績から、①農薬散布後最初の降雨後1日以内、②農薬散布後1週間以内、③降雨後等の極力排水がある日等に採水を行っている例があるので参考にされたい。

(2) 分析に当たっての留意点

農薬は時間の経過とともに分解が進むため、採水した検体は保冷剤の入ったクーラーボックスに保存するなどし、速やかに分析を行うよう努められたい。

また、調査を効率的に進めるため、場外へ排出されるおそれのある農薬の分析のための採水をできるだけまとめて行おうとする場合には、分析対象とする農薬の濃度が比較的高い状態と見込まれる時期とあまりずれないことが必要であるが、当該農薬の散布時期を確認せず、実際には散布から数ヶ月を経過している農薬を分析の対象に含めてしまう不適切な事例があることから、分析に当たっては、対象農薬の使用時期を確認し、適切に行うよう努められたい。

また、水濁基準値及び水産基準値のいずれについても、当該農薬による被害のおそれが極めて少ないと認められ基準値の設定が不要とされた農薬については、分析の必要はない。

(3) 水産動植物の被害防止に当たっての留意点

農薬によっては、人畜に被害を生じるおそれのない排水であっても、水産動植物に被害が発生するおそれがあるものがあることから、新たな指導指針では、水産動植物の被害防止のための水産指針値を導入した。

このため、ゴルフ場での使用が想定される農薬について、別添「水産動植物の被害防止の観点から水質調査において注意を要する農薬一覧」として、①水産基準値が水濁基準値よりも小さい農薬、②水濁基準値が未設定の農薬（これまで水質調査結果が公表されていない農薬）、③近年（平成22～27年度）の水質調査結果（排水口）で水産指針値を超過する事例がある農薬を整理したので、負担を抑え、効率的な水質調査を実施するに当たっての参考とされたい。

3. 水質調査結果の報告

水質調査の結果を環境省へ報告するに当たっては、別紙「ゴルフ場で使用される農薬に係る水質調査結果等の報告に当たっての留意事項」に留意し、別紙様式により報告されたい。

(別添)

平成29年3月1日現在

水産動植物の被害防止の観点から水質調査において注意を要する農薬一覧

本資料は、排出水中に農薬が残留する場合、人畜に被害が生じるおそれがない濃度であっても、水産動植物に被害が発生するおそれがあることから、特に水産動植物被害の未然防止を図るため、ゴルフ場において使用が想定される農薬(芝、樹木、花きに適用のあるもの)について、平成15年以降の水質調査結果(排水口)で水濁指針値を超過する事例が全国的に見られていないことを踏まえ、

- (1)水産基準値が水濁基準値よりも小さい農薬
 - (2)水濁基準値が未設定の農薬(これまで水質調査結果が公表されていない農薬)
 - (3)近年(H22~27年度)の水質調査結果(排水口)で水産指針値を超過する事例がある農薬
- を水産動植物の被害防止の観点から注意を要する農薬一覧として整理したものである。
 この中で、水産基準値が環境中予測濃度(水産PEC)と10倍以内に近接している農薬には網掛けをしているので、これらの農薬を使用する際には特に場外への流出に十分注意し、排水の実態把握に努められたい。

(1)水産基準値が水濁基準値よりも小さい農薬

No.	一般名	用途	水産基準値 (μg/L)	水濁基準値 (μg/L)	適用作物			製品事例 ※ 括弧内は適用作物及び混合相手の成分を記載 ※ 「樹木」は樹木類(木本植物、花木類)の略、「花き」は花き類・観葉植物の略	芝、花き等に 用い、水 産基準値と PECが近接 (10倍以内)	うち非水田 PECが近接 (10倍以内)
					芝	樹木	花き			
1	アセキノシル	殺虫剤	0.39	58			○	カネマイト(花き)		
2	アセタミプリド	殺虫剤	5.7	180	○	○	○	イールダーSG(芝)、モスピラン(樹木、花き)、マツグリーン(樹木)、ダイリーグ(樹木)、マイテミスプレー(花き)、ベンチオピラドとの混合剤)、トップジンM(花き)、レインボーフラワーEX(花き、複合肥料)、カダン殺虫肥料(花き(容器栽培)、複合肥料)		
3	アゾキシストロビン	殺菌剤	26	470	○		○	ヘリテージ(芝)、シカンバ(芝)、ダイプロアアブル(芝、ジフェノコナゾールとの混合剤)、ユニフォーム(花き)、メタキシルMとの混合剤)、アミスター(花き)	◎	
4	アバメクテン	殺虫剤	0.037	2			○	アグリメック(花き)、エイビット(花き)		
5	アミスプロム	殺菌剤	3.6	200	○		○	ベスグリーン(芝)、オラクル(花き)		
6	アメトクラジ	殺菌剤	6.4	7,100	○	○		ザンプロターフ(芝)、ザンプロ		
7	アラクロール	除草剤	4.7	20	○			ラッソー、ハブーン		
8	イミベンコナゾール	殺菌剤	18	26	○	○	○	マネージ(芝、樹木、花き)、ツインサイド(芝)、ホクコーオルトランMP(樹木、花き、アセフェート・ベルメリンとの混合剤)、ムシキントール(樹木、花き、ベルメリンとの混合剤)		
9	インダノファン	除草剤	2.9	9	○			トレビエース(芝)	◎	
10	エトキサゾール	殺虫剤	1.5	100		○	○	バロック(樹木、花き)、ピルク(花き、フェンプロバトリンとの混合剤)		
11	エトフェンプロックス	殺虫剤	0.67	62	○	○	○	サニーフィールド(芝、樹木)、アースガーデン(樹木、花き)、トレボン(樹木、花き)、サンヨール・トレボンズプレー(樹木、花き、DBECとの混合剤)		
12	オキサジアルギル	除草剤	7.3	20	○			サブライズ(芝、オキサジクロメホンとの混合剤)、フェナックス(芝)	◎	
13	オキシジン銅又は有機銅	殺菌剤	1.0	20	○		○	オキシラン(芝、キャプタンとの混合剤)、グリーンオキシラン(芝、キャプタンとの混合剤)、オキシントール(芝)、キアロー(芝)、ドウクリン(芝)、ロブドー(芝、イプロジオンとの混合剤)、ドーマイジン(花き、ストレプトマイシンとの混合剤)	◎	◎
14	カズサホス	殺虫剤	0.25	1			○	ラグビー(花き)		
15	カフェンストール	除草剤	2	7	○			ハイメドウ(芝)、サンシールド(芝、ハロスルフロメチルとの混合剤)、ウェーブル(芝、レナシルとの混合剤)、ラポスト(芝)		
16	カルフェントラゾニエチル	除草剤	13	70	○			タスク(芝)	◎	
17	クレンキシムメチル	殺菌剤	16	950	○	○	○	ターフトップ(芝)、ストロビー(樹木、花き)、ストロビー(花き)		
18	クロチアージン	殺虫剤	2.8	250	○	○	○	ブルスウィング(芝)、ベニカマツケア(樹木)、ベニカ液剤(樹木、花き)、ベニカ水溶剤(花き)、ベニカ粒剤(花き)、カイカラムシエアゾール(樹木、フェンプロバトリンとの混合剤)、ベニカゲムシエアゾール(樹木、フェンプロバトリンとの混合剤)、ベニカリスプレー(樹木、フェンプロバトリンとの混合剤)、ベニカXファイン(樹木、フェンプロバトリン)、バニピリムとの混合剤)、ダシトツ(樹木、花き)、ヒリエート(樹木)、オルトランDX(花き、アセフェートとの混合剤)、ベニカベジフルスプレー(花き)、ガーデンアシストVスプレー(花き)	◎	
19	クロマフェノジド	殺虫剤	97	710		○	○	マトリック(樹木、花き)		
20	クロナトラニリプロール	殺虫剤	2.9	690	○	○		アセルプリン(芝、樹木)	◎	
21	クロリムロンエチル	除草剤	3.7	200	○			アトラクティブ(芝)		

	一般名	用途	水産基準値 ($\mu\text{g/L}$)	水濁基準値 ($\mu\text{g/L}$)	適用作物			製品事例 ※ 括弧内は適用作物及び混合相手の成分を記載 ※ 「樹木」は樹木類(本植物、花木類)の略、「花き」は花き類・観葉植物の略	芝、花き等に用い、水産基準値とPECが近接(10倍以内)	うち非水田PECが近接(10倍以内)
					芝	樹木	花き			
22	クロルフェニル	殺虫剤	0.7	69		○	○	コデツ(樹木、花き)		
23	シアゾファミド	殺菌剤	8.8	450	○			ランマンP(芝)、グリーンワーク(芝、ポリオキシシンの混合剤)		
24	シアントラニリプロール	殺菌剤	1.8	25	○	○		エスベランサ(芝、樹木)、ブレイクショット(芝、樹木)、ツイナタック(芝)	○	
25	ジエトフェンカルブ	殺菌剤	980	1,100		○	○	ゲッター(樹木、花き、チオファネートメチルとの混合剤)		
26	シエノピラフェン	殺菌剤	0.29	100			○	スターマイト(花き)		
27	シフルメトフェン	殺虫剤	6.3	240			○	ダニサラバ(花き)		
28	ジフルメトリム	殺菌剤	3.5	4		○	○	ピリカット(樹木、花き)		
29	シラフルオフェン	殺虫剤	0.067	290	○			シラトップ(芝)	○	○
30	スピロメシフェン	殺虫剤	9.2	58			○	ダニゲッター(花き)		
31	チアマトキサム	殺虫剤	3.5	47	○	○	○	ビートルコップ(芝)、ツイナタック(芝)、シアントラニリプロールとの混合剤、ガーディー(樹木、花き)、エマメクテン安息香酸塩・ジフェノコナゾールとの混合剤、カダンプラスDX(樹木、エマメクテン安息香酸塩・ジフェノコナゾールとの混合剤)、花華やか(樹木、花き)、エマメクテン安息香酸塩・ジフェノコナゾールとの混合剤、アトラック(樹木)、アクトラ(花き)、キープレイヤー(花き、複合肥料)、花色彩(花き、複合肥料)	○	
32	トリフルラリン	除草剤	24	63	○			ノーマAM(芝、ベスロジンとの混合剤)		
33	トリフロキシストロピン	殺菌剤	1.5	100	○			インターフェース(芝、イプロジオンとの混合剤)、デディケート(芝、テブコナゾールとの混合剤)		
34	トルフェンピラド	殺虫剤	0.099	14			○	ハチハチフロアブル(花き)、ハチハチ乳剤(花き)、アクセルキング(花き)	○	○
35	ノバルロン	殺虫剤	0.017	29			○	カウンター(花き)		
36	ハロスルフロメチル	除草剤	5	260	○			インパール(芝)、グラトップ(芝、プロジアミンとの混合剤)	○	
37	ピフェントリン	殺虫剤	0.0058	26	○	○	○	パンチショット(芝、樹木)、テスター(芝、樹木、花き)、アタックワン(樹木、花き、ミクロフタニルとの混合剤)	○	○
38	ピラフルフェンエチル	除草剤	0.82	450	○			芝用エコバート(芝)		
39	ピリダベン	殺虫剤	0.051	10			○	サンマイト(花き)	○	○
40	ピリダリル	殺虫剤	0.38	74	○		○	シバマル(芝)、フレオ(花き)、マザック(花き)		
41	ピリブチカルブ	除草剤	10	23	○			エイゲン(芝)		
42	ピリフルキナゾン	殺虫剤	0.27	10			○	コルト(花き)		
43	ピリプロキシフェン	殺虫剤	7.5	260			○	ラー(花き(施設))		
44	ピリベンカルブ	殺菌剤	60	100	○			ファンターフ(芝)		
45	ピリミジフェン	殺虫剤	0.21	4			○	マイククリーン(花き)		
46	ピロキサスルホン	除草剤	0.74	50	○			ソリスト(芝)		
47	フェンピロキシメート	殺虫剤	0.32	25			○	ダブルフェース(花き、ピフルピドとの混合剤)、ダニロン(花き)、アプロードエース(花き、プロフェジンとの混合剤)		
48	フルアジナム	殺菌剤・殺虫剤	9.3	20			○	フロンサイド(花き)		
49	フルキサピロキサド	殺菌剤	29	55	○			セルカディス(芝)		
50	フルジオキシニル	殺菌剤	77	870	○		○	メダリオン(芝)、セイビアー(花き)		
51	フルチアニル	殺菌剤	85	6,300			○	ガッテン(花き)		
52	フルフェノクスロン	殺虫剤	0.017	98			○	カスケード(花き)	○	○
53	フルベンジアミド	殺虫剤	5.8	45	○	○	○	スティンガー(芝、樹木)、フェニックス(樹木、花き)		
54	プロジアミン	除草剤	0.46	170	○			グラストップ(芝、ハロスルフロメチルとの混合剤)、クサブロック(芝)、バリケード(芝)		
55	ベンシクロン	殺菌剤	100	140	○		○	セレンターフ(芝)、タフシーバ(芝、テブコナゾールとの混合剤)、ティービック(花き)		
56	ベンチオピラド	殺菌剤	56	200	○	○	○	ガイア(芝)、ユニゾン(芝、マンゼブとの混合剤)、スターガードプラス(樹木、花き、ジノテフランとの混合剤)、マイデミンスプレー(花き、アセタミプリドとの混合剤)、アフット(花き)		
57	ベンディメタリン	除草剤	14	310	○			ウェイアップ(芝)、グリーンケアG(芝)、プレム550(芝、複合肥料)、ウェイアップアクアキャップ(芝)、オフII(芝、イマザキンとの混合剤)、クサトレビアン(芝、複合肥料)		
58	ペンフルフェン	殺菌剤	10	53	○			オフティンフロアブル(芝)		
59	ペンフルラリン又はベスロジン	除草剤	2.9	10	○			バナフィン(芝)、ノーマAM(芝、トリフルラリンとの混合剤)、ピバテル(芝、オリザリンとの混合剤)		

	一般名	用途	水産基準値 ($\mu\text{g/L}$)	水濁基準値 ($\mu\text{g/L}$)	適用作物			製品事例 ※ 括弧内は適用作物及び混合相手の成分を記載 ※ 「樹木」は樹木類(木本植物、花木類)の略、「花き」は花き類・観葉植物の略	芝、花き等に用い、水産基準値とPEGが近接(10倍以内)	うち非水田PEGが近接(10倍以内)
					芝	樹木	花き			
60	マンデストロピン	殺菌剤	120	500	○			シバコン(芝)		
61	ミルベメクテン	殺虫剤	1	70		○	○	マツガード(樹木)、ダニボーイ(花き)、コロマイト(花き)、ダニダウン(花き)		
62	メタフルミゾン	殺虫剤	5.8	310		○	○	アクセル(樹木、花き)、アクセルキング(花き、トルフェンピラドとの混合剤)		
63	メトラクロール	除草剤	23	250	○			デュアル(芝)		
64	S-メトラクロール	除草剤	23	250	○			シバッチ(芝)		
65	レビメクテン	殺虫剤	0.063	53			○	アニキ(花き)		

注：水産基準値は順次設定され、また、改正される場合があることから、環境省のホームページにより、随時確認が必要。
指針値は基準値の10倍値である。

(2)水濁基準値が未設定の農薬(これまで水質調査結果が公表されていない農薬)

	一般名	用途	水産基準値 ($\mu\text{g/L}$)	水濁基準値 ($\mu\text{g/L}$)	適用作物			製品事例 ※ 括弧内は適用作物及び混合相手の成分を記載 ※ 「樹木」は樹木類(木本植物、花木類)の略、「花き」は花き類・観葉植物の略	芝、花き等に用い、水産基準値とPEGが近接(10倍以内)	うち非水田PEGが近接(10倍以内)
					芝	樹木	花き			
1	MCPAイソプロピルアミン塩	除草剤	8,100	-	○	○		サブソーン(樹木等、グリホサートイソプロピルアミン塩との混合剤)、プラスコンM(芝、樹木等)、ラビッド等(樹木等、グリホサートイソプロピルアミン塩との混合剤)		
2	MCPAナトリウム塩	除草剤	8,100	-	○	○		MCPソーダ塩(芝、樹木等)		
3	MCPBエチル	除草剤・植物成長調整剤	19	-		○		クサビカフロアブル(樹木等、グリホサートイソプロピルアミン塩との混合剤)	○	
4	アイオキシニルオクタノエート又はアイオキシニル	除草剤	1.1	-	○	○		アクチノール(樹木等)、グロスコール(芝)		
5	アクリナトリン	殺虫剤	0.0052	-			○	アーク(花き)、アザミバスター(花き)	○	○
6	アトラジン	除草剤	150	-	○			アルテミス(芝)		
7	アラニカルブ	殺虫剤	1.8	-			○	オリオン(花き)		
8	イソワロン	除草剤	140	-		○		イソキシル等(樹木等)、ワイドウェイ(樹木等、DCEN・DCMUの混合剤)、ロードキーパー(樹木等、テトラピオンとの混合剤)、ワイドウェイX(樹木等、シアジン・DBNとの混合剤)、シャルウィードPro(樹木等、グリホサートイソプロピルアミン塩・メコプロップPイソプロピルアミン塩の混合剤)		
9	イソプロカルブ又はMIPC	殺虫剤	2.4	-	○			みみんず(芝)		
10	イプロジオン	殺菌剤	180	-			○	ロブラール(芝)、ブルーデンス(芝、ホセチルとの混合剤)、ロブグラン(芝、トルクロホスメテルとの混合剤)、ロブドー(芝、有機銅との混合剤)、ユキスター(芝、テブコナゾールとの混合剤)、パッチバスター(芝、イミノクタジン酢酸塩との混合剤)、ユキスター(芝、テブコナゾールとの混合剤)、インターフェース(芝、トリフロキシストロピンとの混合剤)		
11	イマザビルイソプロピルアミン塩又はイマザビル	除草剤	4,100	-		○		アーセナル等(樹木等)、ゼログラス(樹木等、グルホシネートとの混合剤)		
12	イミノクタジンアルベシル酸塩	殺菌剤	2.7	-	○	○		ベルコート(樹木類)、ポディーブロー(芝、ポリオキシとの混合剤)		
13	イミノクタジン酢酸塩	殺菌剤	2.7	-	○	○	○	ポリベリン(樹木類、花き、ポリオキシとの混合剤)、ミステラン(芝、チウラムとの混合剤)、カシマン(芝)、モノクタジン(芝、メブロールとの混合剤)、ペフラン(花き)	○	○
14	エテホン	植物成長調整剤	7,100	-	○		○	エスレル10(花き)、プロキシ(芝)		
15	エマメクテン安息香酸塩	殺虫剤	0.096	-		○	○	アフーム(花き)、ショットワン(樹木)、ガーディー(花き、樹木、チアトキサム・ジフェノナゾールとの混合剤)、カダンプラス、花華やか(花き、チアトキサム・ジフェノナゾールとの混合剤)、リバイブ(樹木類、樹木)		
16	オレイン酸ナトリウム	殺虫殺菌剤	2,300	-			○	オレート(花き)		
17	グリホサートアンモニウム塩	除草剤	6,200	-		○		ラウンドアップドライ等(樹木等)、ラウンドアップハイロード(樹木類、樹木等)		

一般名	用途	水産基準値 ($\mu\text{g/L}$)	水濁基準値 ($\mu\text{g/L}$)	適用作物			製品事例 ※ 括弧内は適用作物及び混合相手の成分を記載 ※ 「樹木」は樹木類(木本植物、花木類)の略、「花き」は 花き類・観葉植物の略	芝、花き等 に用い、水 産基準値と PECが近接 (10倍以内)	うち非水田 PECが近接 (10倍以内)
				芝	樹木	花き			
18 グリホサートイソプロピルアミン塩	除草剤	6,200	-		○		ラウンドアップ等(樹木等)、サブゾーン(樹木等、MCPAイソプロピルアミンとの混合剤)、クサクリーン等(樹木類、樹木等)、サンダーボルト007(樹木等、ピラフルフェンエチルとの混合剤)、ピマスターJ等(樹木類、樹木等、2,4-PAイソプロピルアミンの混合剤)、リプロ(樹木等、イマザビルとの混合剤)クサキングエース等(樹木等、ピラフルフェンエチルとの混合剤)、グラスジャック(樹木等、フルミオキサジンとの混合剤)、ラビッド等(樹木等、MCPAイソプロピルアミンとの混合剤)、ネコギクイックプロシャワー等(樹木等、ピラフルフェンエチルとの混合剤)、パワーボンバー等(樹木等、プロマシルとの混合剤)、シャルウィードPro等(樹木等、イソウロン・メコプロップイソプロピルアミンとの混合剤)、アースカマイラズ等(樹木等、プロマシル・メコプロップPカリウムとの混合剤)スピードスターGP等(樹木等、ベラルゴとの混合剤)メガレンジャー等(樹木等、ヘキサジンとの混合剤)		
19 グリホサートカリウム塩	除草剤	6,200	-		○		ラウンドアップKロード等(樹木等)、ザッソージエース等(樹木類、樹木等)、ダブルクラッチ、除草王シャワーS(樹木等、MDBAカリウムとの混合剤)、ラウンドアップマックスロードAL II (樹木等、ベラルゴン酸カリウム塩との混合剤)		
20 グリホサートナトリウム塩	除草剤	6,200	-		○		フレビオン(樹木等、テトラビオンとの混合剤)		
21 クロリダゾン又はPAC	除草剤	2,100	-	○			レナバック(芝、PACとの混合剤)		
22 クロルピリホス	殺虫剤	0.046	-		○		ダースバン(樹木)	○	○
23 クロタロニル又はTPN	殺菌剤	8	-	○		○	ダコニール(花き)、ダコグリーン(芝、チウラムとの混合剤)、カダンD(花き、アレスリンとの混合剤)、カダンP(花き、ベルメリンとの混合剤)		
24 シアナジン	除草剤	29	-	○	○		グラメックス等(芝、樹木等)、カルコーン等(樹木等、DCBNとの混合剤)、ワイドウェイ等(樹木等、イソウロン・DBNとの混合剤)ネコギエース(樹木等、テブチロン・DBN・DCMUの混合剤)、クサビースアップ(芝、樹木、DBNとの混合剤)、クサビース(メコプロップPカリウム塩との混合剤)、クサ枯レッタ(ターバシル・DBNとの混合剤)、クサプランカー(樹木等、DCMU・MCPPとの混合剤)、ワイドウェイEX(DCBN・DCMUとの混合剤)		
25 シアナミド	殺虫剤 殺菌剤 除草剤	シアナミドとして670	-		○		CX-10等(樹木)	○	
26 シアン酸ナトリウム	除草剤	2,100	-		○	○	シアンोट(樹木等)		
27 ジウロン又はDCMU	除草剤	25	-		○		ダイロン等(樹木等)、カッター等(DBNとの混合剤)、ワイドウェイ等(イソウロン・DCBNとの混合剤)、マスタリーT等(樹木等、テブチロン・DBNとの混合剤)、ラーチH等(樹木等、トリブジン・DBNとの混合剤)、クサノンQ等(樹木等、グルホシネート・トリブジンとの混合剤)、GF草退治粒剤等(樹木等、シアナジン・DCBNとの混合剤)、ソーバー等(ターバシルとの混合剤)、ロンゴヒッターA等(樹木等、フルアジホップP・2,4-PA粒剤との混合剤)、まるぼうずDX等(樹木等、プロマシル・MCPPとの混合剤)、ワイドウェイV等(樹木等、ヘキサジン・DBNとの混合剤)、ローVX等(樹木等、テブチロン・DBNとの混合剤)、クサプランカーDX等(樹木等、シアナジン・MCPP粒剤との混合剤)、ラーチRX等(樹木等、カルブチレート・DBNとの混合剤)、ラーチG等(ヘキサジンとの混合剤)、ウィードポリスA等(樹木等、アミカルバリン・プロマシルとの混合剤)		
28 シクロスルファミロン	除草剤	3.5	-			○	ダブルアップDG等(芝)	○	
29 ジクワットプロミド又はジクワット	除草剤	13	-		○	○	ブリグロックSL等(花き、バラコートとの混合剤)、レグロック(樹木等)	○	
30 シハロトリン	殺虫剤	0.0081	-	○		○	サイハロン水和剤(芝)、サイハロン乳剤(花き)	○	○
31 シフルトリン	殺虫剤	0.0061	-		○	○	ヒットゴール液剤AL(樹木類、花き、トリアジメホンの混合剤)、HJバイスロイド等(花き)、アースガードW(花き、ピラルタノールとの混合剤)	○	○
32 ジフルベンズロン	殺虫剤	0.43	-		○	○	デミリン等(樹木、樹木類)		
33 シマジン又はCAT	除草剤	170	-	○		○	シマジン粒剤1等(芝)		
34 ジメトエート	殺虫剤	200	-			○	ジメトエート粒剤等(花き)		
35 ジラム	殺菌剤	0.96	-	○	○		コニファー等(樹木)、モドクター等(芝)	○	○

一般名	用途	水産基準値 ($\mu\text{g/L}$)	水濁基準値 ($\mu\text{g/L}$)	適用作物			製品事例 ※ 括弧内は適用作物及び混合相手の成分を記載 ※ 「樹木」は樹木類(木本植物、花木類)の略、「花き」は花き類・観葉植物の略	芝、花き等に用い、水産基準値とPECが近接(10倍以内)	うち非水田PECが近接(10倍以内)
				芝	樹木	花き			
36 ストレプトマイシン硫酸塩又はストレプトマイシン	殺菌剤	190	-	○	○	○	アグリマイシン100等(芝、オキシテトラサイクリンとの混合剤)、アタキシン等(チオファネートメチルとの混合剤)、バクテサイド等(樹木類、オキシテトラサイクリンとの混合剤)、ドーマイシン等(花き、有機銅との混合剤)		
37 セトキシジム	除草剤	7,200	-		○	○	ナブ乳剤等(樹木、樹木類、花き)		
38 ターバシル	除草剤	60	-		○		グラスジャック等(樹木等、DBNとの混合剤)、ノンウィード等(樹木等、テトラピオン・テブチウロンとの混合剤)、ソーバー等(樹木等、DCMUとの混合剤)、マスターVバリュー等(樹木等、シアナジン・DBNの混合剤)、フルトンX等(樹木等、ヘキサジン・DCBNとの混合剤)、モーカレタ(樹木等、フルミオキサジンとの混合剤)、メガレンジャー等(樹木等、テトラピオン・テブチウロンとの混合剤)、ラーチT等(樹木等、DCMUとの混合剤)、レールウェイEX等(樹木等、DCBN・DCMUとの混合剤)		
39 ダイアジノン	殺虫剤	0.077	-	○	○	○	カヤク・ダイアジノン乳剤40等(芝)、ダイアジノン水和剤34等(樹木類)、オンダイエース(花き、ペンタフルカリンとの混合剤)、ダイアジノンSE乳剤等(芝、樹木、樹木類、花き)、ランダイヤ等(芝、メリミルとの混合剤)	○	○
40 タウフルバリネート又はフルバリネート	殺虫剤	0.18	-		○	○	マプリック水和剤20等(樹木、花き)、マプリックジェット等(花き)		
41 ダゾメット	殺線虫剤・殺菌剤・除草剤	610	-	○	○	○	バスアミド等(芝、樹木、樹木類、花き)		
42 チアクロプリド	殺虫剤	840	-		○		エコファイターフロアブル等(樹木)		
43 チウラム	殺菌剤	10	-	○	○	○	アンレス等(樹木)、ダコグリーン等(芝、TPNとの混合剤)、ホーマイ等(芝、樹木、花き、チオファネートメチルとの混合剤)、ヤシマレント等(樹木)、ミステラン等(芝、イミノクタン酢酸塩との混合剤)、ティーピック等(花き、ペンシクロンとの混合剤)、ペンレートT水和剤20等(芝、花き、ベシミルとの混合剤)		
44 チオジカルブ	殺虫剤	2.7	-	○	○	○	ラーピン水和剤75等(花き)、リラークDF(芝、樹木)		
45 チオソクファムシユロ酸塩又はチオソクファム	殺虫剤	1.9	-			○	エビセクト等(花き)	○	
46 チオファネートメチル	殺菌剤	100	-	○	○	○	トップジンM等(樹木、樹木類、花き)、ラビライト等(花き、マンネブとの混合剤)、ホーマイ等(芝、花き、チウラムとの混合剤)、アタキシン等(花き、チオファネートメチルとの混合剤)、スミトップM等(花き)、ゲッター等(樹木、樹木類、花き、シニフェンカルブとの混合剤)、ワンオン等(芝、バリダマイシンとの混合剤)、グラコン等(芝、ホセチルとの混合剤)、カダンSP II等(花き)、ベルトリンとの混合剤)、モスピラン・トップジンMSプレー等(花き)、アセタミプリドとの混合剤)、モストランクスプレー等(花き)、アセタミプリド・フェンプロパトリンとの混合剤)	○	
47 テトラコナゾール	殺菌剤	280	-	○	○	○	ボンジョルノ(芝)、サルバトール等(花き)、ダブルプレーA L等(樹木、樹木類、花き)、フェンプロパトリンとの混合剤)、ガーデンガードAL等(樹木、花き、ベルトリンとの混合剤)、ピゴールド等(芝、フルオキサストロビンとの混合剤)		
48 テブチウロン	除草剤	100	-		○		ハーピック等(樹木等)、マスターV等(樹木等、DBNとの混合剤)、マスターT等(樹木等、DBN・DCMUとの混合剤)、ノンウィード(樹木等、ターバシル・テトラピオンとの混合剤)、ワイドウェイZ等(樹木等、シアナジン・DBN・DCMUとの混合剤)、レールウェイ等(樹木等、DCBNとの混合剤)		
49 テブフェンピラド	殺ダニ剤	1.8	-		○	○	ピラニカEW等(樹木、花き)、シーマージェット等(花き、BPMCとの混合剤)		
50 テフルトリン	殺虫剤	0.0064	-		○		フォース等(樹木)		
51 トフロメトリン	殺虫剤	0.0053	-	○	○	○	スカウト(芝、樹木、花き)	○	○
52 トリクロロホン又はHDF	殺虫剤	0.11	-	○	○	○	ディブテックス(芝、樹木、樹木類、花き)	○	○
53 トリフロキシスルフロソナトリウム塩	除草剤	28	-	○	○		モニュメント(芝、樹木等)		
54 トリホリン	殺菌剤	910	-	○	○	○	園芸用キンチオールS(花き、ベルトリンとの混合剤)、GFオルトランC(樹木、花き、アセフェート・MEPとの混合剤)、サブロール等(芝)、微量注入用ウッドキングDASH等(樹木、樹木類)		
55 ニテンピラム	殺虫剤	9,900	-			○	ベストガード等(花き)		
56 バラコートジクロリド又はバラコート	除草剤	240	-		○	○	ブリグロックス(樹木類、樹木等、花き、ジクワットとの混合剤)、グラモキソンS(樹木等)		
57 バリダマイシンA又はバリダマイシン	殺菌剤	10,000	-	○			ワンオン等(芝、チオファネートメチルとの混合剤)、トルファン等(芝、フェリムソンの混合剤)		

一般名	用途	水産基準値 ($\mu\text{g/L}$)	水濁基準値 ($\mu\text{g/L}$)	適用作物			製品事例 ※ 括弧内は適用作物及び混合相手の成分を記載 ※ 「樹木」は樹木類(木本植物、花木類)の略、「花き」は花き類・観葉植物の略	芝、花き等に用い、水産基準値とPECが近接(10倍以内)	うち非水田PECが近接(10倍以内)
				芝	樹木	花き			
58	ビスピリバクナトリウム塩	除草剤	1,200	-	○		グラスシード等(樹木等)、シードキープ(芝、樹木等)		
59	ヒメキサゾール又はヒドロキシノキサゾール	殺菌剤・糖物成長調整剤	2,800	-	○	○	チチガレン等(芝、花き)、ミックレート等(芝、プロピコナゾールとの混合剤)、ラバガード等(芝、テブコナゾールとの混合剤)。		
60	フィプロニル	殺虫剤	19	-		○	プリンス等(花き)		
61	フェナリモル	殺菌剤	600	-		○	ルビゲン(花き)		
62	フェノプロカルブ又はDPMC	殺虫剤	1.9	-	○	○	T-7、5パイサン等(樹木、MPPとの混合剤)、マラバックス等(花き、マランとの混合剤)、シーマージェット(花き、テブフェニピラドとの混合剤)、ミダス(芝)	○	
63	フェンバレーレート	殺虫剤	0.042	-		○	スミアルファ(花き)	○	○
64	フラザスフロソ	除草剤	17	-	○	○	シバゲン等(芝)、カタナ(樹木等)、ツバサ(樹木等、グルホシネートとの混合剤)、シバゲン(芝、樹木等)		
65	フルアジホップドブチル又はフルアジホップド	除草剤	82	-		○	ワンサイドP(芝、樹木、樹木等)、ロングヒッターA(樹木等、DCMU・2, 4-PAとの混合剤)		
66	プロクロラズ	殺菌剤	310	-		○	スポルタック等(花き)		
67	プロジアミン	除草剤	0.46	-	○	○	グラトップ等(芝、ハロスフロソメチルとの混合剤)、クサブロック等(芝、樹木等)		
68	プロチオホス	殺虫剤	0.2	-	○	○	トクテオン等(芝、樹木、樹木類、花き)	○	○
69	プロビネブ	殺菌剤	21	-	○		プロテケート(芝)		
70	プロフェノホス	殺虫剤	0.077	-		○	エンセダン(樹木、花き)		
71	プロマシル	除草剤	27	-		○	デュボンハイパーX等(樹木等)、クサレンジャー等(樹木等、DCMUとの混合剤)、ソクガレ等(樹木等、ピラフルフェンエチルとの混合剤)、まるぼうず等(樹木等、MCPPとの混合剤)、パワーボンバー等(樹木等、グリホサートイソプロピルアミン塩との混合剤)、カマイラス等(樹木等、グリホサートイソプロピルアミン塩・メコプロップカリウムとの混合剤)、かれるくん等(樹木等、ジメナミドPとの混合剤)、まるぼうずDX等(樹木等、DCMU・MCPPとの混合剤)、まるぼうずS等(樹木等、カルブテレート・MCPPとの混合剤)、ウィードポリスW等(樹木等、アミカルバゾンとの混合剤)、ウィードポリスA(樹木等、アミカルバゾン・DCMUとの混合剤)		
72	ヘキサコナゾール	殺菌剤	290	-	○	○	アンビル等(樹木、樹木類、花き)、花セラビー等(樹木、花き、フェンプロピトリンとの混合剤)、シババEX(芝、アノキシストロピンとの混合剤)		
73	ヘキシチアノクス	殺ダニ剤	36	-		○	ニッソラン(花き)		
74	ベルメトリン	殺虫剤	0.17	-	○	○	アディオ等(樹木類、花き)、園芸用キンチオールS等(花き、トリホリンとの混合剤)、カダンP等(樹木、花き、TPNとの混合剤)、エンバMC等(芝)、カダンSPII等(樹木、花き、チオファネートメチルとの混合剤)、ムシキントール(花き、イミベンコナゾールとの混合剤)、オルトランMP等(樹木、花き、アセフェート・イミベンコナゾールとの混合剤)、ベニカX等(樹木、花き、ミクロブタニルとの混合剤)、カダンガードAL等(樹木、花き、テトラコナゾールとの混合剤)、ベニカDX等(花き、フプロフェジン・ミクロブタニルとの混合剤)	○	○
75	ベンフラカルブ	殺虫剤	0.99	-		○	オンコル粒剤S等(樹木、花き)、オンダイアエース等(樹木、花き、ダイアジノンとの混合剤)、オンコルスタークル等(花き、ジノテフランとの混合剤)。	○	○
76	ホスチアゼート	殺虫剤	23	-		○	ネマトリン等(樹木、花き)、ネマバスター等(樹木、樹木類)		
77	マンネブ	殺菌剤	18	-		○	エムダイファー(樹木、花き)、ラビライト等(花き、チオファネートメチルとの混合剤)	○	○
78	メソミル	殺虫剤	1.5	-	○		ランダイヤ(芝、ダイアジノンとの混合剤)。		
79	メチダラオン又はDMTP	殺虫剤	0.11	-		○	スプラサイド乳剤40等(樹木類、花き)	○	○
80	メトスフロソメチル	除草剤	870	-	○	○	サーベルDF等(芝、樹木等)		
81	メトリブジン	除草剤	23	-		○	ラーチH等(樹木等、DBN・DCMUとの混合剤)、ラーチ(樹木等、DBNとの混合剤)、クサノンQ(樹木等、グルホシネート・DCMUとの混合剤)		
82	ヨードスフロソメチルナトリウム塩	除草剤	61	-	○		デスティニー(芝、樹木等)、ウィーデン(芝、オキサジクロメホンとの混合剤)、クリアコンビ(芝、エトキシスフロソとの混合剤)		

	一般名	用途	水産基準値 ($\mu\text{g/L}$)	水濁基準値 ($\mu\text{g/L}$)	適用作物			製品事例 ※ 括弧内は適用作物及び混合相手の成分を記載 ※ 「樹木」は樹木類(木本植物、花木類)の略、「花き」は 花き類・観葉植物の略	芝、花き等 に用い、水 産基準値と PECが近接 (10倍以内)	うち非水田 PECが近接 (10倍以内)
					芝	樹木	花き			
83	リムスフロロン	除草剤	980	-	○			ハーレイDF(芝)		
84	レナシル	除草剤	15	-	○			レンザー等(芝)、レナバック(芝、PACとの混合剤)、 ウェーブル等(芝、カフェンストロールとの混合剤)、		
85	酸化フェンブカスズ	殺菌剤	0.2				○	オサダン(花き)	○	○

注：水産基準値は順次設定され、また、改正される場合があることから、環境省のホームページにより、随時確認が必要。
指針値は基準値の10倍値である。

(3) 近年(H22~27年度)の水質調査結果(排水口)で水産指針値を超過する事例がある農薬

	一般名 (超過数/調査検体数)	用途	水産指針値 ($\mu\text{g/L}$)	最高検出値 ($\mu\text{g/L}$)	適用作物			製品事例 ※ 括弧内は適用作物及び混合相手の成分を記載 ※ 「樹木」は樹木類(木本植物、花木類)の略、「花き」は 花き類・観葉植物の略	芝等の適用 で水産基準 値とPECが 近接(10倍 以内)	うち非水田 PECが近接 (10倍以内)
					芝	樹木	花き			
66	イミノクタンアルベシル酸 塩及びイミノクタン酢酸塩 (2/122) ※水濁の暫定指針値: 60 $\mu\text{g/L}$	殺菌剤	27	52	○	○	○	ポデーブロー(芝、ポリオキシンの混合剤)、カンマン (芝)、ミステラン(芝、チウラムとの混合剤)、モノクタン (芝、メプロニルとの混合剤)、ベルコート(樹木、花き)、 ポリペリン(樹木、花き、ポリオキシンの混合剤)、ペフ ラン(花き)	○	○
67	ダイアジノン (5/438) ※水濁の暫定指針値: 50 $\mu\text{g/L}$	殺虫剤	0.77	10	○	○	○	エキソジン(芝)、ダイアジノン(芝、樹木)、ショットガン (芝、樹木)、ランダイヤ(芝、メジミルとの混合剤)、オン ダイアース(花き、ペンフラカルブとの混合剤)	○	○
3	アゾキシストロピン (1/150)	殺菌剤	280	400	○		○	ヘリテージ(芝)、シバンバ(芝)、ダイブフロアブル(芝、ジ フェノコナゾールとの混合剤)、ユニフォーム(花き、メタ キシルMとの混合剤)、アミスター(花き)	○	
13	オキシラン又は有機銅 (3/169)	殺菌剤	18	40	○		○	オキシラン(芝、キャプタンとの混合剤)、グリーンオキシラン (芝、キャプタンとの混合剤)、オキシドール(芝)、キソ ドール(芝)、ドクグリーン(芝)、ロフトー(芝、イプロジオンとの混 合剤)、ドーマイシン(花き)、ストレプトマイシンの混 合剤)	○	○

注：調査検体数は、都道府県から環境省に報告のあった数。